

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成27年8月20日(2015.8.20)

【公開番号】特開2015-126945(P2015-126945A)
 【公開日】平成27年7月9日(2015.7.9)
 【年通号数】公開・登録公報2015-044
 【出願番号】特願2015-77497(P2015-77497)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月19日(2015.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

呼吸に適した気体を患者に送達する患者インターフェース用クッションであって、土台壁と、

前記土台壁に連結された膜であって、前記膜は、所定厚みを有し、かつ、患者の顔面の鼻梁領域、一对の鼻側部領域、一对の上側頬領域、一对の下側頬領域、および、顎領域それぞれの上に連続的な密封を形成するように適合された鼻梁領域、一对の鼻側部領域、一对の上側頬領域、一对の下側頬領域、および、顎領域を含み、

前記鼻梁領域、前記一对の鼻側部領域、前記一对の上側頬領域、前記一对の下側頬領域、および、前記顎領域の少なくとも 1 つにおける前記膜の厚みは、少なくとも 1 つの他の領域における厚みと異なり、

前記クッションは、前記クッションの少なくとも頬領域において疑問符形または鎌形の形状を有し、

前記クッションは、前記膜によって形成された一重壁構造を有する、ことを特徴とするクッション。

【請求項 2】

前記鼻梁領域における膜の厚みは、前記一对の上側頬領域における膜の厚みより薄いことを特徴とする請求項 1 に記載のクッション。

【請求項 3】

前記鼻梁領域における膜の厚みは、前記一对の下側頬領域における膜の厚みより薄いことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のクッション。

【請求項 4】

前記鼻梁領域における膜の厚みは、前記顎領域における膜の厚みより薄いことを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 5】

前記鼻梁領域及び前記一对の上側頬領域における膜の厚みは、0.3 mm を有し、この厚みは、前記一对の上側頬領域において 0.5 mm の厚みに移行し、かつ、前記一对の下側頬領域及び前記顎領域において 0.5 mm の厚みを維持することを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 6】

前記鼻梁領域におけるカーブの頂点は、前記クッションが着用される際に患者の顔面に向かう方向において前記一対の上側頬領域における膜のカーブの頂点より高い、または、同じ高さであることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 7】

前記膜は、前記鼻梁領域において細長い稜部を形成し、前記細長い稜部は、合流して細長い頂部を形成する傾斜した両側部を有することを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 8】

前記細長い稜部は、患者の鼻梁領域との係合する上でその構造を反転するように構成されることを特徴とする請求項 7 に記載のクッション。

【請求項 9】

前記細長い稜部の縁部は、前記細長い稜部がその構造を反転するように、ロールするように適合されることを特徴とする請求項 8 に記載のクッション。

【請求項 10】

前記傾斜した両側部それぞれは、頂部の中心線から 30° ～ 60° の範囲で角度が付いており、前記頂部は、 1.0 mm ～ 5.0 mm の範囲の曲率半径を有することを特徴とする請求項 7 ～ 9 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 11】

前記土台壁は、患者インターフェースと恒久的に連結するように適合されることを特徴とする請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 12】

前記土台壁は、患者インターフェースと取り外し可能に連結するように適合されることを特徴とする請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 13】

前記土台壁の少なくとも一部分は、力が前記フレームによって前記クッションにかかった際の、クッションの移動量を決定するバネ構造を含むことを特徴とする請求項 1 ～ 12 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 14】

前記土台壁が、前記連続的な密封に沿って変化するバネ定数を規定することを特徴とする請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載のクッション。

【請求項 15】

前記バネ定数は、前記土台壁の変動可能な断面構造に従って変化することを特徴とする請求項 14 に記載のクッション。

【請求項 16】

前記バネ定数は、前記土台壁の厚さにテーパを付ける及び / または厚さを変化させることによって変えることを特徴とする請求項 14 または 15 に記載のクッション。

【請求項 17】

前記膜は、前記クッションの外側の幅を画定する外部表面を有し、前記土台壁は、前記外部表面から内側にオフセットされることを特徴とする請求項 1 ～ 16 のいずれか一項に記載のクッション。